

ヤマハ・スタインバーグ、パートナー企業とともに構築するエコシステム提供開始



2026年3月18日

ヤマハ株式会社は、デジタルミキシングコンソール「MGX シリーズ」、オーディオインターフェース「URX シリーズ」、およびコントローラー「CC1」に向けたファームウェア及びソフトウェアアップデートを公開しました。

このアップデートにより、ヤマハとスタインバーグは、パートナー企業との連携により実現する操作性を拡張したエコシステムと、追加した機能をお届けします。

今後も、世界中のお客様から頂いた貴重なご意見・ご要望にお応えし、ライブ PA、設備音響、配信、音楽制作などの多様な現場において、より柔軟でスムーズなワークフローを実現するための継続的なアップデートを計画しています。

今回公開されるアップデートは以下の通りです。

- Tools for MGX/URX V1.1 (Firmware V1.2)
- Tools for CC1 V1.1
- MGX/URX Plugin for Elgato Stream Deck (Elgato Marketplace にて公開)
- スタインバーグ MixKey V1.0 (スタインバーグ MixKey ページにて公開)

エコシステムによる新しいワークフローの提案

本アップデートにより、CC1 と Elgato 社の「Stream Deck」から MGX/URX の主要機能を操作できるようになるため、ライブ PA オペレーション、配信、レコーディング時のワークフローがシンプルになり、迅速な操作が可能になります。



Steinbergソフトウェアとの統合

MGX/URX シリーズとSteinbergのDAW「Cubase」「Nuendo」、およびストリーマーやクリエイターのためにデザインされたオーディオソフトウェアミキサー「MixKey」に連携機能を追加搭載。ハードウェアとソフトウェアをよりシームレスに統合して、ライブ PA、設備音響、レコーディング、配信、コンテンツ制作などの用途で洗練されたワークフローを提供します。

- ソフトウェア側カスタムペインパネルから、入出力チャンネル設定やエフェクト設定、モニタリングなどを操作できます
- ソフトウェアとハードウェア間のルーティングの簡素化



その他の改良点

上記に加えて、『Sound Pad Editor 機能の追加 (MGX のみ)』『ステレオペア対応』『microSD の機能追加』『各種機能の改良、バグ修正および安定性向上』を含む、30 項目以上の改善が行われています。



Related Products

- MGX series: <https://www.yamaha.com/2/mgx/>
- URX series: <https://www.yamaha.com/2/urx/>
- CC1: <https://www.yamaha.com/2/cc1/>
- MixKey: <https://www.steinberg.net/ja/mixkey/>